

製品名: リン酸化 MEK1 (Thr292) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00706**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 43 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2K1
別名	MAP2K1; MEK1; PRKMK1; Dual specificity mitogen-activated protein kinase kinase 1; MAP kinase kinase 1; MAPKK 1; MKK1; ERK activator kinase 1; MAPK/ERK kinase 1; MEK 1
遺伝子 ID	5604
SwissProt ID	Q02750
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

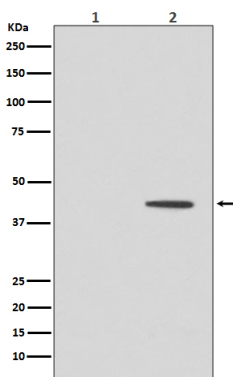
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、二重特異性タンパク質キナーゼファミリーのメンバーであり、マイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼキナーゼとして機能します。MAP キナーゼは細胞外シグナル制御キナーゼ (ERK) としても知られ、複数の生化学的シグナルの統合点として機能します。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



(1) HeLa 細胞溶解液中の MEK5 のウエスタンブロット分析、(2) ノコダゾール処理した HeLa 細胞を Phospho-MEK1 (Thr292) 抗体を用いて解析。